平成３１年度

事　業　計　画　書

社会福祉法人　秀 孝 会

**社会福祉法人　秀　孝　会**

**平成３１年度　事　業　計　画**

**法人基本理念**

－　輝きをもち必要とされる人になろう　－

　一生懸命努力を重ね、社会や人に対して感謝の心、愛する心を持ち、自分自身で輝く心を育て、その心を持って利用者・職員・家族の更なる幸福を目指すとともに、地域全体の福祉の向上に貢献すること。

**基本方針**

社会福祉法改正に対応した法人体制強化を図り、節目となる２年が経過した。この間、法改正の趣旨に沿った法人運営に努めてきたが、引き続き地域における高齢者福祉の中核的法人として地域ニーズに応える体制を築いていかなければならない。目標を達成するためには、直面する人材確保等数多くの難題を解決させる必要があるが、更に役職員一丸となって行動する１年とする。

メインテーマ「質の向上」

１．サービスの質

　　・特別養護老人ホーム京都ひまわり園の住環境改善計画の事業実施

　　　　・利用者の人格を尊重したサービスの提供

　　　　・利用者への認知症ケアの充実

　　　　・利用者のＡＤＬの向上を目指し、セラピストによるケアの充実

　　　　・提供したサービスの自己評価の徹底

２．人材の質

　　　　・内部研修の充実

　　　　・自己研鑚制度の創設

　　　　・幹部候補職員の育成

　　　　・技能実習生の育成体制の構築

３．経営の質

　　　　・法人事業本部の機能強化

　　　　・各事業の経営状況を把握し、収支バランスの安定を図る

　　　　・地域貢献活動を含めた地域ニーズに対応した事業展開の検討

　　　　・危機管理体制の強化

□　本部役員

　　理事定数　　　６名　　　　　現　員　　　６名

　　評議員定数　　７名　　　　　現　員　　　７名

　　監事定数　　　２名　　　　　現　員　　　２名

（第１５期理事　　任期　平成２９年８月１日～平成３１年度定時評議員会終結まで）

　　理事長　　藤森　信正

　　理　事　　林　　清子　　　　理　事　　藤田　良一　　　　理　事　　稲葉　裕二

　　理　事　　相原　俊子　　　　理　事　　宮脇　節代

（第１５期監事　　任期　平成２９年８月１日～平成３１年度定時評議員会終結まで）

　　監　事　　道上　幸彦　　　　監　事　　溝口　武美

（第１０期評議員　　任期　平成２９年４月１日～平成３３年度定時評議員会終結まで）

　　評議員　　辻村　俊三　　　　評議員　　島田　哲夫　　　　評議員　　由浪　　周

　　評議員　　山口　博司　　　　評議員　　藤林　一慶　　　　評議員　　高桑　　勝

　　評議員　　西脇　さよ子

□　理事会開催予定

　　　　　２０１９年　６月　　　　　業務執行報告、理事・監事改選、決算関係、事業報告

　　　　　　　　　　　９月　　　　　業務執行報告

　　　　　　　　　　１２月　　　　　業務執行報告、補正予算関係

　　　　　２０２０年　３月　　　　　業務執行報告、当初予算、事業計画

□　監事監査予定

　　　　　２０２０年　５月　　　　　組織運営、事業、管理、会計

□　評議員会開催予定

　　　　　２０１９年　６月　　　　　業務執行報告、理事・監事改選、決算関係、事業報告

　　　　　　　　　　１２月　　　　　業務執行報告、補正予算関係

２０２０年　３月　　　　　業務執行報告、当初予算、事業計画

□　事業内容

経営事業

＊介護老人福祉施設　特別養護老人ホーム京都ひまわり園（平成５年４月１日開設）

　　　　定員　５０名　　　　　施設長　稲葉　裕二

　　　　所在地　京都府八幡市八幡清水井３１番地

　　＊短期入所生活介護事業京都ひまわり園（平成５年４月１日開設）

　　　　定員　　８名　　　　　施設長　稲葉　裕二

　　　　所在地　京都府八幡市八幡清水井３１番地

＊通所介護事業所　京都ひまわり園（平成５年４月１日開設）

　　定員　２０名　　　　　管理者　稲葉　裕二

　　所在地　京都府八幡市八幡清水井３１番地

＊訪問介護事業　京都ひまわり園（平成１２年４月１日開設）

　　　　　　　　　　　　　　　管理者　藤田　良一

　　　　所在地　京都府八幡市八幡清水井２４番地

＊ケアハウスポポロ２１（平成１２年４月１日開設）

　　　　定員　５０名　　　　　施設長　藤田　良一

　　　　所在地　京都府八幡市八幡清水井２４番地

＊グループホーム京都ひまわり園（平成１６年５月１日開設）

　　　　定員　１８名　　　　　管理者　小林　裕美子

　　　　所在地　京都府八幡市八幡清水井２０番地

＊介護老人福祉施設　特別養護老人ホーム有智の郷（平成１６年１１月１日開設）

　　　　定員　７０名　　　　　施設長　倉谷　昌枝

所在地　京都府八幡市内里北ノ口５－１

　　＊短期入所生活介護事業　有智の郷（平成１６年１１月１日開設）

　　　　定員　１０名　　　　　施設長　倉谷　昌枝

所在地　京都府八幡市内里北ノ口５－１

＊通所介護事業　有智の郷デイサービスセンター（平成１６年１１月１日開設）

　　　　定員　３０名　　　　　管理者　出口　由起枝

所在地　京都府八幡市内里北ノ口５－１

＊居宅介護支援事業　有智の郷ケアマネージメントセンター（平成１６年１１月１日開設）

　　　　　　　　　　　　　　　　管理者　倉谷　昌枝

所在地　京都府八幡市内里北ノ口５－１

＊地域包括支援事業　八幡市地域包括支援センター有智の郷（平成２８年７月１日開設）

　　　　　　　　　　　　　　　　管理者　橋本　由佳

所在地　京都府八幡市内里北ノ口５－１

　受託事業

＊八幡市ひまわり園在宅介護支援センター（平成５年４月１日開設）

　　　　　　　　　　　　　　　　管理者　稲葉　裕二

　　　　所在地　京都府八幡市八幡清水井３１番地

＊八幡市在宅介護支援センター有智の郷（平成１６年１１月１日開設）

　　　　　　　　　　　　　　　　施設長　倉谷　昌枝

所在地　京都府八幡市内里北ノ口５－１

＊八幡市訪問給食事業　京都ひまわり園（平成５年４月１日開始）

＊八幡市訪問給食事業　有智の郷（平成１６年１１月１日開始）

**事業計画**

　１．サービスの質

　　　　**求められているサービスの優先順位を定め、量から質への転換を図る。**

　　　　　　　・リハビリテーション専門職員の増員に努め、法人全体の利用者のADL向上と介護職員の介護技術向上に努める。

　　　　　　　・特別養護老人ホーム京都ひまわり園の入居者居住環境改善事業実施に向けた関係機関と協議を引き続き行う。

　　　　２．人材の質

　　　　　　　**セルフチェックにとどまることなく、個々に対するチームチェックをも確立する。**

・介護職員初任者研修による無資格職員の有資格化を進める。

・ベトナム人技能実習生受け入れ事業（教育、住居整備）を実施する。

　　　　　　・多様な正職員の雇用形態について調査研究し、働きやすい職場環境づくりに努める。

　　　３．経営の質

**各事業における収支管理の徹底を図るとともに法人のイメージアップに努める。**

・事務部門(総務・経理・人事)の本部統合を推し進める。

・細かな利用率管理を行い、適正な人員配置の検討をする。

・地域貢献事業のベースともなる地域交流スペースの開設に向けた企画を八幡市

と協議する。

・より良い外国人労働者（技能実習生）受入れを確立させるため、調査研究を継

続実施する。

　　　　　　・女子ソフトテニス部「チームサニーブリーズ」創部により、法人イメージのみ

ならず介護事業のイメージアップに努める。

特別養護老人ホーム京都ひまわり園

短期入所生活介護京都ひまわり園

１　サービスの質

　　自己決定を基本とした支援を行い、身体拘束や虐待について「学ぶ、考える」機会を

設ける。認知症ケアについては季節行事の中に旬の食材を取り入れた食事の提供など、

五感への刺激を意識する。また中堅職員が講師を行い、教えることでのスキルアップを

図っていく。

（責任者：主任　笹井竹成、副主任　玉井智也、管理栄養士　藤木孝子）

２　人材の質

　　排泄や口腔ケアなどの基本手技手順書の作成を行い、それに基づいた内部研修や指導

を行っていく。技能実習生に対しては第二事業部と連携し、高齢者についての理解や認

知症ケアに触れながら、日本文化や地域の風土を理解させる。

　（責任者：看護師　八鍬悦美、主任　西野正美、副主任　木本澄江）

３　経営の質

　　稼働率を算出し、職員一人一人が現状を理解し、高い意識を持てるようにする。また、

　介護職員初任者研修をはじめ、地域ニーズに合わせた外部講師等の派遣を積極的に行う。

　（責任者：相談員　佐藤光造、管理栄養士　藤木孝子、主任　笹井竹成）

通所介護京都ひまわり園

１　サービスの質

ご利用者やご家族との良好な関係性の構築するために接遇に留意する。認知症予防の

観点から脳トレを積極的に活用していく。

　（責任者：相談員、作業療法士　大原幸子）

２　人材の質

　　外部研修に積極的に参加し、参加後の伝達研修を実施することで学ぶ機会を増やす。

また、リハビリに関する内部勉強会を年２回開催する。

　（責任者：作業療法士　大原幸子）

３　経営の質

　　ケアマネジャーとの連携や情報共有を行い新規利用者の確保に努め、稼働率の増加を

図る。研修事業や実習受入れなどにも取り組み地域貢献を行う。

　（責任者：相談員）

ホームヘルパーステーション京都ひまわり園

１　サービスの質

　　利用者の気持ちを理解し、生きる意欲や前向きな気持ちになれるよう接遇チェックシ

ートを活用する。利用者の言動の背景に何があるか等の情報収集、分析、対応の検討を

行い、認知症の特性を知り、ケアの充実を図る。

　（責任者：サービス提供責任者　近藤由美子）

２　人材の質

　　認知症利用者の増加に伴い、法人勉強会をはじめ、外部研修にも参加して知識や情報

　量を増やしてケアに活かしていく。

　（責任者：サービス提供責任者　近藤由美子）

３　経営の質

　　柔軟な受け入れ体制を整え、ニーズに合わせた利用回数や新規受け入れを増やしてい

く。効率よくサービスを行い、稼働率の維持・向上を図る。

　（責任者：サービス提供責任者　近藤由美子）

グループホーム京都ひまわり園

１　サービスの質

　　入居者個々のやりたい事や好きな事を日常生活に取り入れるようにする。また、アロ

マテラピーの活用を継続し、認知症予防、症状の緩和や改善に取り組む。

　（責任者：副所長　小林由美子、水戸千重、倉田真人）

２　人材の質

　　現場の課題に即した事業所内の研修を実施する。また、マニュアルの整備を行うこと

　で内部のケアの質を向上させる。

（責任者：政次一樹）

３　経営の質

　　退院や新規入所の受入れを速やかに行い、空床日数を少なくし稼働率の改善を図る。

また、危機管理として、地震を想定した避難訓練を実施する。

　（責任者：副所長　小林由美子、主任　熊谷昌幸）

ケアハウスポポロ２１

１　サービスの質

　　入居者同士相手を尊重しお互いを理解できる人間関係をつくれるように支援する。認

知症の予防になるように実施しているクラブ活動やラジオ体操を強化していく。サービ

ス内容の評価は６ヶ月に１回実施する。

　（責任者：副施設長　小山文代、副主任　目黒隆之）

２　人材の質

　　軽費・ケアハウスの相談員部会で話し合ったことやソーシャルワークにつなげられる

研修内容を活用するために伝達研修を実施していく。

　（責任者：副主任　目黒隆之）

３　経営の質

　　継続して年間６００名の入居者を目指す。また、在庫管理している消耗品の消費率を

前年度比１０％削減を行う。危機管理として地震や停電等の状況に応じた避難方法や対

応方法をわかりやすく指導、訓練を行う。

　（責任者：副施設長　小山文代、副主任　目黒隆之）

特別養護老人ホーム有智の郷

短期入所生活介護有智の郷

１　サービスの質

　本人や家族にカンファレンスに参加していただき意向を踏まえたサービス計画を作成

する。参加できない場合は電話や手紙で確認できるよう工夫する。認知症ケアについて

は認知症基礎研修や実践者等養成研修への参加により理解を深めケアにつなげる。

　（責任者：副施設長　岩崎哲也、相談員　西澤秀隆、看護主任　栗幸子）

２　人材の質

　　感染症・褥瘡予防や看取り、身体拘束廃止、事故防止検討委員会等は３ヶ月に１回開

催し、認知症ケア・介護技術などの内部研修を開催することでケアの質を向上させる。

技能実習生については京都ひまわり園と連携し、受け入れ体制を整える。

　（責任者：副施設長　岩崎哲也、主任　佐藤あゆみ、看護主任　栗幸子）

３　経営の質

　　優先待機者を確保し、退所から入所までの期間を１週間で進めていけるようにする。

また、介護職員初任者研修事業やボランティアの受入れ等で地域貢献に取り組む。危機

管理については災害時に必要な備品の保管やマニュアルの作成など災害発生時の体制を

整える。

　（責任者：相談員　庄源明子、相談員　西澤秀隆）

通所介護有智の郷

１　サービスの質

　　個々のニーズを把握し、満足度の高いケアを提供する。在宅生活が継続できるための

工夫をする。デイサービス全体の評価とチームケアの推進のため自己評価及び相互評価

を実施する。

　（責任者：管理者　出口由起枝、園田一之）

２　人材の質

　　分からないことをそのままにせず、職員全員が理解できるようにする。そのためにも

法人内外の研修に積極的に参加していく。

　（責任者：管理者　出口由起枝）

３　経営の質

　　事業運営の安定化のためにも毎日の利用登録３０名を目標とする。また、新たなサー

ビスではなく、現在のサービスの質を向上させる。

　（責任者：管理者　出口由起枝、園田一之）

居宅介護支援事業所有智の郷

１　サービスの質

　　利用者や家族の意向を確認し、自己決定を基本としたサービスの提案、提供をする。

毎月の定期訪問やサービス事業所からのモニタリングによりケアプランの評価を実施す

る。

　（責任者：松尾明美）

２　人材の質

　　法人勉強会への積極的に参加することや事業所内で習得したいことを地域包括支援セ

ンターと連携し研修を企画・実施する。

　（責任者：松尾明美）

３　経営の質

　　担当人数を把握し、地域包括支援センターからの新規相談のみ迅速に対応していく。

独居や高齢世帯等の支援が必要な利用者を把握して、災害時などに必要な支援ができる

体制をつくる。

　（責任者：宮川久美子）

地域包括支援センター有智の郷

１　サービスの質

　　利用者・家族との信頼関係を構築し自立した生活が送れるよう支援を行う。認知症ケ

アの研修へ積極的に参加し、認知症の方が地域の中で生活が継続できるよう支援を行う。

センター内でケースについて報告を行い、提供したサービスが適切か確認する。

　（責任者：管理者　橋本由佳、木村茉奈世）

２　人材の質

法人内外の研修に参加し、伝達研修を行うことで日々の支援に活かしていく。

　（責任者：久保比早衣）

３　経営の質

　　担当件数を把握して、迅速に対応できる体制をつくる。また、地域に出向き、民生委

　員等から話を聞いて資源の把握やニーズの把握を行い、求められている支援を協議する。

　（責任者：木村茉奈世、久保比早衣）